

NHO フェローシップ プログラム申請書

1. 研修プログラム名： 脳血管・神経内科基礎プログラム
病院名： 九州医療センター

2. 診療科：(専門領域) 脳血管・神経内科

3. コースの概要

留学期間中、脳血管・神経内科にて脳血管障害や神経救急疾患を経験する。

4. 目標

脳血管障害診療の基幹病院として急性脳卒中を中心とした神経救急疾患患者への対応を脳神経外科、脳血管内治療科、救急部、放射線科、他の診療科、看護部、リハビリ部、栄養部、薬剤部と連携してチーム医療として行う。回復期リハビリ病院や療養型病院と積極的にシームレスな医療連携を実践する。また地域の医療機関から紹介された脳血管障害患者の精査を行い、全身血管病の一つとして脳血管障害をとらえ、正しい治療方針を決定・通知し地域医療の向上に寄与する。

5. 取得手技

脳血管障害の病態評価に必須の頭部 CT 検査、頭頸部 MRI および MRA 検査、頸部血管超音波検査を正しく評価できる。塞栓源検索に用いられる経食道心エコー図検査や脳循環評価に役立つ脳血流 SPECT 検査や経頭蓋超音波検査所見を理解できる。担当患者に関しては脳血管撮影にも参加する。認知機能評価の MMSE や長谷川スケール、および嚥下評価結果を解釈できる。髄液検査や神経伝導検査、および脳波所見を解釈できる。

6. 研修期間：6 か月

7. 募集人数：1 名

8. 診療科の実績

主要疾患	入院数 (年間)
心原性脳塞栓症	65
アテローム血栓性脳梗塞	70
ラクナ梗塞	90
大動脈原性脳塞栓症	20
BAD	60
塞栓原不明塞栓症	80
一過性脳虚血発作	20
脳出血	120
ギランバレー症候群	5
パーキンソン病	10
てんかん、けいれん	50

9. 診療科の指導体制

診療科医師数 常勤 7名

主として研修指導にあたる責任医師 杉森 宏 (経験年数 35 年)

10. コンセプト

Common disease である脳卒中の病態と診断、および治療方法を理解し、脳血管障害救急患者へのチーム医療としての救急対応や脳血管精査の方法を学び、救急病院から回復期リハビリテーションへの医療連携を実践することにより現代の脳血管障害医療と神経救急対応を研修する。

11. その他 (研修関連情報など)

研修教育プログラム (週 1 回)

臨床カンファレンス (週 5 回)